

☆作業日あれこれ

8月の第2土曜日はお盆真っ最中の14日でした。果たして何人参加するかとスタッフは気をもみながらのスタートです。観察会は通称盆栽タケ殿の担当で、センター前に生えている柊の解説です。残念ながら花が終わり子房だけになっている実物を観ながら、百合根が食用になることやアブラムシが媒介するウイルスに感染し易く百合根目的の栽培には注意を要することを説明。非常によく似たコナユリというのがあり、違いは柊は種子ができず幼ゴができるが、コナユリには幼ゴができず種子ができることです。よく見ると、目の前の柊には葉の付け根に幼ゴができています。柊は3倍体で種子ができず幼ゴで増える(栄養体生殖：無性生殖の1種)ののですが、ここで3倍体について説明に入ります。

通常は1組(2倍体)ある染色体が分裂(減数分裂)して生殖細胞ができ、別の減数分裂した生殖細胞と出会って1組(1+1)の染色体を持つ新しい生命が誕生します。



これがカシナガ・体長5mm

ところがまれに減数分裂しない生殖細胞ができ通常の1倍体生殖細胞との間で3倍体(2+1)ができるか、同様の減数分裂していない生殖細胞に出会うと2組の染色体を持った生命(4倍体：2+2)が誕生します。これが減数分裂をすると2倍の染色体を持った生殖細胞ができ、通常の1倍体の生殖細胞と出会うと3倍体(2+1)の生命ができるのですが、奇数であるために3倍体の染色体は半分になる減数分裂ができず生殖細胞を作ることができません。これが3倍体に種子ができないことの説明です。この森にはこうした3倍体の植物として、ヤブカンゾウ、ヒガンバナ、ジャガ、ナツズイセンなどがあります。

観察会の最後は、先月の通信にも書いている柊枯れのおさらいです。この森で柊枯れを確認したのは2006年12月、今年の被害はこの地域を含めて未曾有の状況です。そんな中でも救われるのは、遊林会が地域への啓発の意味も含めて柊枯れから木を守るために2007年に措置をしたコナユリがまだ健在だということです。このコナユリは市内の延命公園にあり県下で2番目に大きいと言

われている大木で、市が保護樹木に指定しており、胸高直径が150cm以上、推定樹齢120年以上です。当時、この木を枯らしてならじと公園管理を担当している親方の力も借りて白いビニールを巻き、カシナガが侵入しないように対策をしたのです。



8月の作業は、予定では柊枯れ調査、竹林整備、ササ機械刈りの3つを行うつもりでした。しかし作業説明のマルが「今日の最優先作業は柊枯れ調査です」と告げるとこの時集まっていた約20人が「それなら今日はみんなで柊枯れやろう!」ということになり、第2土曜の作業としては珍しく食事班以外は全員が一つの作業を実施することになりました。1班3~4人を6班作り、メッシュ状に区切った森の地図を片手に森の隅から隅まで手分けしての調査です。各班ランシバーでお互いの位置を確認しながら調査漏れがないように歩き回ります。もちろん観察路沿いだけではなく、道なき森の中にも分け入っての調査ですが、調査隊の面々は相当のベテランでも足を踏み入れたことのない所があったようです。当然、そこは保全作業から取り残されたジャングル状態で、人跡未踏(?)の地を探検したほどと驚いた方もありました。とにかく蒸し暑い中、全員汗まみれ・蚊の巣まみれで何とか被害木調査は終了しました。後日、スタッフで少し追加調査をした結果も合わせると、15haの森の中で8月末時点での柊枯れ被害木は、今年枯れた木が20本(内8本が常緑のアカシ)、そして被害にあった(カシナガが侵入した)が生きているという木が230本以上という結果でした。

8月の昼食は男の料理ということになっており、ハムソート村突撃隊長はコック帽を被って焼きそばの調理です。手伝いの親方は水分不足を補うために缶ビールをご愛飲ですが、隊長はお茶です。今回、クマも愛子様よりナシビ焼きのお仕事を賜り、隊長の横で励むこととなりました。男の料理とは言っても冷や汁や白玉団子などは女性陣のお世話で酒盛りの準備は完了、いつもより少し少ない30人余りでお盆のお昼は賑わいました。

9月22日(水曜日)週日活动 森の居酒屋は9月8日 午後7時頃~

9月11日(第2土曜日) 9時~(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先：東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210 当日連絡先：携帯(丸橋)090-3352-3163

Eメールでも、ご意見をお待ちしています。E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

第 4 水曜日は猛暑まっただ中、9時に集まったのは炭焼名人と焼き鳥名人のお二人のみ…。どうしたものかと思案していると、休暇を取って参加された山田棟梁ほか 2 人が加わり、少人数ですが精鋭揃いで予定の作業を行うことにしました。この日の作業は過日の子ども向けイベント「いきものの森 1 日インジャー教室」で伐採したナラ枯れ枯木の処理と枯枝のチップ作業です。

インジャー教室は、午前には森で生き物つかみと調査をした後、午後から「ナラ枯れ」を子どもたちに説明後、森の中でナラ枯れで枯れた木を調査して地図に落としてもらい、うち 1 本を伐採・玉切り・刃で割って中の虫を観察した後、子どもたちがノコギリで枝を処理し、その枝を使って工作をする…というインジャーにふさわしい充実したプログラムを実施しました。その時切り倒した直径 30cm ほどのナラは、さすがに子どもたちだけで処理しきれなかったのが本日の作業となったわけです。今年枯れたばかりのこのナラからは、早速カシノガキイシの幼虫が出てきました。40cm に玉切りし、薪割り機で細かく割ってよく乾燥させ、虫が出てこないようにします。枝葉はチップで粉碎し、早速歩道に敷き詰めました。ここまでやってちょうどお昼、みんな大汗をかいていますが、昼食は久しぶりの郷土料理「丁字麩のからし和え」ほか豪華メニューでお腹はすっかり満足です。しかしこの日はこれで終わりではなく、午後からはこの日の夕刻より実施する夏休み一番人気イベント「森の地蔵盆」の準備です。カレー 100 人分を始め、ドンガラ鉄砲的当てアクションの準備など大忙しでしたが、イベント開始直前になって久しぶりの落雷・夕立おまけに停電まであり、会場の移動などで再びバタバタ…それでも何とか準備が完了し、無事に地蔵盆のイベントを終えることができました。お手伝いいただいたみなさん、本当に有難うございました。

★8月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。8月は2回の活動を行いました。
8/5 6 人 交流広場で折れてひっかかっている枝の撤去作業と、交流広場でのサ機械刈り。
8/19 9 人 工作イベントのサポート、ナラ枯れの調査及び薬剤による処理のテストを行いました。
9月は2日、16日、30日が活動日です。

★河辺いきものの森スタッフルーム情報

イベントで賑わった夏休みも終わり、インターンとして来てくれた延べ10人もの学生のみなさんにはお世話になりました。机上の理屈ではなく、クイズなどにやってくる子どもたちに直に接する機会は、大学で学ぶ事とは違う一面があったのではないのでしょうか。インターンは来年も募集する予定ですから、興味ある学生さんはぜひどうぞ！

★ナラ枯れ調査補足

前述したナラ枯れ調査の補足です。この森に2006年に被害が及んで以降、遊林会として可能な対策を講じてきた結果、何とか1年間に5本以内の枯損木しか出さずに済んでいました。しかし今年は枯れた木が20本。被害発生後3～4年でピークが来るという報告は正しいようです。気になるのは、枯れた20本のうち8本が常緑樹のアカシということ。カシノガキイシはもともとカシに入る虫なのでアカシが枯れること自体特別でないのですが、この森でアカシが枯れたのは今年が初めてで、しかも太いカシだけでなく細いカシ(胸高直径14cm)も枯れたことが気になります。それほど虫の数が多かったということなのでしょうが、憂慮されるのはカシなどの常緑樹は地域の鎮守の森、すなわち社寺林などにも多く、いずれこうした所にも被害が出るのではないかということです。現時点で周辺の社寺林で被害が出たとは聞いていませんが、これまでは薪炭林として使わなくなった山での被害が中心であり、それ故他人事と認識されていた感がありましたが、今も暮らしにつながりがある社寺林にまで被害が及ぶとなると、もはや対岸の火事では済まされない状況になるかもしれません。

また、枯れてはいないものの虫が侵入した木が230本以上あることも調査して初めて分かりました。これらは今年は「木が虫に勝った」ということですが、中の虫がすべて死んだわけではないでしょうから、爪楊枝を刺して来年の成虫の脱出を防ぐ等の対処が必要です。一方既に枯れた20本については、次の春までに伐採し、虫が出てこないよう処理する必要があります。

いずれにしても、ナラ枯れの予防と対策についてはまだ研究途上にあり、コスト面を含め決定的な防除方法は確立されていません。しかし防除方法が確立されるまで何もしないわけにはいきません。ボランティアとしてできることはわずかですが、たとえわずかなことでも何もしないよりはできることから始めるべきです。ナラ枯れは、昭和30年代に燃料革命が起こって以降、里山を放置してきた結果起こった環境問題とも言えます。50年間も里山に無関心であったのに、最近木が枯れているから「何とかしてくれ」と訴えるのは、あまりにも無責任なことです。わずかでも自分たちでできることをやり、地域の自然は自分たちで守るということを、多くの人が実践するようになれば良いと考えています。

★9月の作業日

例年9月からは午後も作業を行います。残暑厳しい今年はどうなることやら…。天候次第では午前だけの作業とします。

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！